

【岩手県】HP掲載版※

自治体意見・要望	気象庁回答
<p>対象とする災害について、当該県において被害が最も大きかった災害を例示することで、住民の危機意識が高まるものと考えます。</p>	<p>数十年に一度という極めて稀な現象に対して特別警報を発表することとしており、岩手県では過去20年で、2002年7月9日～11日の梅雨前線及び台風第6号による大雨、2007年9月16日～18日の秋雨前線による大雨が特別警報に該当する事例と考えています。1973年～1974年にかけての大雪(四八豪雪)についても特別警報の該当事例と考えています。また、今年8月9日の大雨についても該当事例と考えており、盛岡地方気象台ホームページに「岩手県災害時気象資料」として、気象経過や発表した情報について掲載しています。 岩手県におけるこれらの気象災害等について、機会あるごとに説明してまいります。</p>